

2月の知的財産スポット講座

最新の裁判例に基づく商品・パッケージの デザイン、商標の保護と最適な権利取得

難易度
中級

～商標法・意匠法・不競法・著作権法、どの法律を使って守るのがベストなのか？
商品の特性に合わせた選択の考え方～

2020年2月14日(金) 10:00～17:00



講師 青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

- ◆商品の売れ行きを左右する商品やパッケージのデザインと商標を、如何に効果的に保護するか、最新の裁判例に基づき、意匠法、商標法、不正競争防止法、著作権法に分けて、出願のバリエーション、各保護要件、侵害判断基準について説明します。
- ◆また、各法律による保護のメリット・デメリットを解説して、商品・パッケージデザインの種類に応じた複合的な使い分けについて解説します。
- ◆そして、最後に、米国、欧州、中国における保護の留意点についても、商標・意匠の国際登録制度と合わせて解説します。

【解説内容】

I パッケージデザインの種類

1. パッケージ(箱、ボトル)
2. ラベル(文字、図形、キャラクター)
3. その他(商品の形状、タッチポイント、広告)

II 意匠法による保護

1. 出願の種類(部分、関連、組物、秘密、動的意匠)
2. 権利取得上の留意点
3. 裁判例と侵害判断基準

III 商標法による保護

1. 文字・図形・立体・色彩・動き・ホログラム・位置・音による保護

2. 権利取得上の留意点
3. 裁判例と侵害判断基準

IV 不正競争防止法による保護

1. 3つの保護のバリエーション(混同、著名、デッドコピー)

2. 保護要件

3. 裁判例と適用例(パッケージの希釈化)

V 著作権法による保護

1. 著作物性
2. 保護要件
3. 裁判例と侵害判断基準(トリップトラップ知財高裁判決)

VI 各法律の保護のメリット・デメリットと使い分け

- VII 改正商標法の下における意匠と商標の新たな関係(意匠なのか、商標なのか)

VIII デザインによるブランド確立

IX 海外における保護の留意点

1. 米国(デザインパテント、コモン・ロー)
2. 欧州(欧州連合商標規則・同意匠規則)
3. 中国(不競法の整備が遅れている、主役は意匠)
4. 商標・意匠の国際登録(WIPO)

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◇本講座は、企業や法律・特許事務所における実務経験2年～5年の方々にとって、最適な講座です。

◆日時 2020年2月14日(金) 10:00～17:00

◆会場 虎の門三丁目ビルディング1階 研修室 (東京都港区虎ノ門3丁目1-1)

◆定員 40名

◆講師 青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

◆受講料 会員16,500円・一般19,000円 (※消費税込み)

◆申込 FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp 「知財 ist 研修・スポット講座他」)